

飼料作物の優良種子を使いましょう

岡山県畜産課飼料係

畜産経営の安定的拡大を図るには、良質粗飼料の増産が最も重要なことであり、このために、草地改良事業、飼料基盤整備特別対策事業および飼料作物増産対策事業等種々の飼料基盤整備事業が強力に推進されて来たことはすでにご承知のとおりです。

〔優良種子の証明〕

a 外国産種子の証明

このような必要性から、昭和四十二年四月、OEOD（経済協力開発機構）飼料作物種子品種証明制度へわが国も参加しました。この制度は、優秀な特性をもった種子が遺伝的にも固定されているものに限り対象として国際的に保証し、これを流通させることにあります。

本制度に参加することによって、今後OEODに登録された優秀な品種については、その旨を明記して輸入されることになりました。

また、わが国で改良育成された優良な品種については積極的に登録して、流通種子の資質の向上をはかるとともに不良種子の排除に乗り出しました。

b 国内流通種子の証明

一方国内流通種子についても、栽培農家が使用する種子の証明を行う必要があります。

このため、輸入種子については発芽率、含水率、種子の純度などの種子検査を行い、国内産種子については採種圃場で増殖のために使われた原種の確認、圃場の雑草、異型個体の有無、交雑可能な他品種からの隔離状況などの圃場検査のほか、生産された種子の種子検査を行う体制が整備され、新たに昭和四十三年十一月に設立された社団法人日本飼料作物種子協会により、とり行われることとなりました。

〔岡山県飼料作物 奨励品種〕

また、証明された種子が適正に用いられるために、昭和四十三年十一月国の指導により、各都道府県は飼料作物奨励品種を選定し、これの栽培利用方法を明らかにし、奨励品種の普及促進に努めることとなりました。

本県においても、昭和四十二年からこのための準備を進めて来ましたが、今般岡山県農作物品種選定要綱にもとづく、岡山県農作物品種選定審議会が開催され、岡山県の飼料作物奨励品種が選定され、それは次表の岡山県飼料作物奨励品種一覧表に記載のとおりでありまして、近く公表される運びになりました。

そしてこれ等の栽培利用基準として、飼料作物の作り方と利用法をおくばりしていただきます。

〔今後の課題〕

今後は、各関係機関の協力のもとにこれ等奨励品種の使用を普及促進しながら、国の強力な施策により、優良種子の入手、あっせん等に努めて行きます。そしてこ

〔国内流通飼料作物 種子の現状〕

しかしながら、良質粗飼料増産の基本ともいえる飼料作物種子については、例え昭和四十一年についてみると、国内産種子はわずかに二一トンでこれに対し輸入種子は五三三二トンであって、わが国に流通している飼料作物種子の大部分は外国からの輸入に依存しているのが現状であります。したがって、国内産種子はもちろん、外国産種子についても良質のものが確保されなければなりません。

これからは、国の草地改良事業あるいは飼料作物増産対策事業等補助事業の実施に当っては、本県の奨励品種に指定されたもので、日本飼料作物種子協会の検査証明種子を使用することを補助条件として、奨励品種の普及を強力に図ることになっています。

また、これ等奨励品種についても今後試験を重ね、必要に応じて取捨選択しながら、高位生産技術を普及してまいりますので、皆様の一層のご協力をお願いいたします。

なお次表は、岡山県飼料作物奨励品種の一覧表であって、個々の品種について特性の詳細は近く公表される予定であります。

(技師 松井 修)

岡山県飼料作物奨励品種一覧表

(春夏作青刈作物)

飼料作物名	品種名	不良環境耐性				病害 主な病名	栽培利用方法						目標数量	利用期間	栽培地目			適応地帯	種子入手難易	
		寒さ	耐暑	耐湿	耐酸		耐病性	単播	混播	青刈	サイレージ	干草			放牧	草	畑			その他
青刈とうもろこし	ホワイトデン	×	○	○	○	煤紋病	○	○	○	○	×	×	7/10a 5~7.5	6下~10下	×	◎	×	×	県内全般	A
	エトコーデン	×	○	○	△	"	○	○	○	○	×	×	5~6	"	×	◎	×	"	A	
	交1号	×	△	○	△	"	○	○	○	○	×	×	6~8	"	×	◎	×	"	B	
	交7号	×	△	○	△	"	○	○	△	○	×	×	5~6	6下~8上	×	◎	×	"	B	
	長交161号	×	△	○	△	"	○	○	○	○	×	×	5.5~7.5	6下~10下	×	◎	×	"	B	
長交202号	×	△	○	△	"	○	○	○	○	×	×	5.5~7.5	"	×	◎	×	"	B		
ソルガム	ニューソルゴー	×	◎	○	△	"	○	△	◎	○	×	×	6~12	7上~10下	×	◎	×	南部・中部適 北部可	A	
	スーパース	×	◎	○	△	"	○	△	◎	○	×	×	8~14	"	×	◎	×	"	A	
	ハイブリッド	×	◎	○	△	"	○	△	◎	○	×	×	7~13	7中~10下	×	◎	×	"	A	

六月号目次

飼料作物の優良種子を使いましょう

.....飼料係.....1

講演集録

豚多頭飼養における多発疾病の防除.....森谷昇一.....4

◇鶏試だより

四十四年度主要試験課題.....多田昌男.....8

畜産技術滲透連絡会議.....四十四年度重点的指導事項.....3

養豚協会事業.....7

養鶏協会事業.....9

県境防疫会議について.....8

畜産昔話(一).....杜陵 胖.....10

アメリカ カナダ旅行記(九).....ナガイ・ハナオ.....12

研修生報告(一).....15

新しい酪農映画「山地酪農にいどむ」を購入しました。ご利用下さい。貸出し料一、〇〇〇円



あいさつをする橋本課長

昭和四十四年度重点指導事項決定

県下の畜産技術者の技術の向上と意識の統一を図る為に、岡山県畜産技術者連結協議会が結成されているが、この昭和四十四年度の会議が五月十六日岡山市で開かれた。同会議には、畜産課、普及教育課、酪農、和牛、養鶏試験場、各農林単位に結成されている地域の畜産技術者連絡協議会、各農業団体より参加し、本年度の重点的畜産技術指導事項を協議した結果次のように決まり、各項目について各試験場で指導の手引を執筆、連絡協議会で作成し、意識の統一を図って指

導を進めることとなった。

- ◆ 重点的畜産技術指導事項
 - ① 酪農
 - 乳用子牛の育成技術（六カ月から種付日まで）
 - 乳房炎の予防
 - 繁殖障害の予防
 - ② 肉用牛
 - 繁殖管理技術
 - 繁殖隊の多頭飼養管理技術
 - ③ 鶏
 - 鶏の飼養環境の改善
 - 鶏糞の合理的処理とその利用法
- ◆ また同会議でいろいろな点について検討されたが、その主な点は次のとおりである。

まず県畜産課および各試験場の今年度の方針としてあげられた点は、畜産課長「畜産行政を進めてゆく場合、今日のようにはげしく変る社会情勢、また総合農政のなかにおいては、技術の開発を待たず行政が先走る場合があるが、しかしその先行した行政でも技術が追いついてはじめて行政効果が出るものである。そこで、本年度の畜産課の

(秋冬作青刈作物)

飼料作物名	品種名	不良環境耐性				病害 主な病名 耐病性	栽培利用方法					目標収量	利用期間	栽培地目				適応地帯	種子入手難易
		寒さ	耐暑	湿潤	酸性		単播	混播	青刈	サイレージ	干草			放牧	草	畑	水田裏作		
イタリアンライグラス	ワセヒカリ(那系3号)	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	△	7~10a 7~12	10下~12中 3下~6中	◎	◎	◎	◎	県内全般	O
	オホセカリ(那系4号)	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	7~12	"	◎	◎	◎	◎	"	O	
	鳥取系	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	7~12	"	◎	◎	◎	◎	南部、中部	O	
	4倍体系統(マンモスA,B)	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	8~13	"	×	◎	◎	◎	◎	県内全般	A
H ¹ ライグラス	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	6~11	"	"	◎	◎	◎	◎	"	A	
青刈麦	前進	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	△	△	3~6	早播11下~12上 秋播5上~6上	×	◎	◎	×	"	A	
	岡山黒	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	△	△	3~5	春播6上~6下	×	◎	◎	×	"	B	
青刈ライ麦	ベトクザ	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	△	△	3~5	早播11下~12上 秋播4下~5下	×	◎	◎	×	中部、北部	A	
れんげ	岐阜れんげ	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	×	×	4~4.5	5上~5中	×	×	◎	×	南部、中部	A	
	富農選24号	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	×	×	4~4.5	"	×	×	◎	×	中部、北部	B	
	北陸1号	◎	×	◎	△	◎	◎	◎	×	×	3.5~4	"	×	×	◎	×	北部	B'	
飼料カブ	下総カブ	◎	△	◎	△	◎	◎	◎	×	×	5~7	12上~3中	×	◎	◎	×	県内全般	A	
	小岩井カブ	◎	△	◎	△	◎	◎	◎	×	×	5~7	"	×	◎	◎	×	"	A	
	柴丸カブ	◎	△	◎	△	◎	◎	◎	×	×	4~6	"	×	◎	◎	×	"	A	

(永年牧草)

飼料作物名	品種名	不良環境耐性				病害 主な病名 耐病性	栽培利用方法					目標収量		利用目的	栽培地目				適応地帯	種子入手難易
		寒さ	耐暑	湿潤	酸性		単播	混播	青刈	サイレージ	干草	放牧	単播		混播	草	畑	水田裏作		
オーチャードグラス	北海	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	6~7	3下~10中	◎	◎	×	◎	県内全般	A	
	フロード	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	6~7	"	◎	◎	×	◎	"	A	
アカクローバー	北海	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	5~6	"	◎	◎	×	◎	"	B		
	ケンランド	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	4~5	探草地5~10	"	◎	◎	×	◎	"	A	
シロクローバー	カリフォルニア	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	4~7	"	◎	◎	×	◎	"	A		
	オレゴン	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	4~7	"	◎	◎	×	◎	"	A		
ペレニア	ニュージランド	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	×	×	3.5~4	"	◎	◎	×	◎	"	A		
	ピクトリアン	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	×	◎	◎	5~10	"	◎	◎	×	◎	"	A	
フェスク	ケンタッキー	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	×	◎	◎	5~10	"	◎	◎	×	◎	"	A	
記載注意		◎ 著しく強い ○ やや強い □ 普通 △ やや弱い × 著しく弱い				◎ 最適 ○ 適 □ 普通 △ 可能 × 不適							◎ 最適 ○ 適 □ 普通 △ 条件により適 × 不適							
入手難易の分類		A: 制限なく入手出来るか、限度があってもほぼ需要が満たされる。 B: 入手出来るが数量に制限がある。 B': 特定の地域のみ入手出来る。 C: 計画生産中で近い将来入手できる。																		

重点課題として「試験研究機関の整備拡充」をあげており、更に次の点を強力におし進めてゆきたい。

- 一、基盤の整備
 - ①、草地の造成、改良、維持
 - ②、草地に近接する既耕地と組み合わせ
 - ③、水田を飼料作物の為にいかに利用するか。
- 二、流通組織の整備
- 三、防疫体制の確立
 - 自主防疫の体制強化
 - 各試験場長「貿易自由化が進み、世界市場といわれる今日、世界の中における日本の畜産の経済性を考えて試験研究を進めてゆく必要がある。その中で応用的、実用的な試験を行なうが、行政と普及と研究の三本柱の中で情報を獲得しながら進めてゆきたい。特に、上からの一方通行の試験研究におわらずに、末端農家からの要望を聞き、体系だったものとして研究を続けてゆきたい。」
- 各農林事務所単位に、管内の県出先機関、農業団体の出先、市町村、農協の畜産関係者、および有志を構成員とする地域畜産技術者連絡協議会が構成されておられ、年数回の催しを開き、お互いの知識の高揚や意識の統一につとめているが、末端農家へ、技術や知識の浸透が図りにくい点として、協議会の担当者は次の点をあげている。
 - 一、運営経費がなくて十分な活動ができない。——主として協議会の運営が会費や寄付金等でまかなわれている。
 - 二、農家にわかりやすいようなパンフレット等を作成しようとするれば、担当者は高度な専門知識をもっていなければならないし、また、作成する時間的余裕もあまりない。
 - 三、市町村、農協等の畜産技術者までは新技術も比較的浸透しやすいが、それらの技術者は各自膨大な量の仕事を多方面にわたって持っているため、十分活動できない。
- これらに対して団体関係から、種々の場合各自の分担を決めて、重複はさけるようにすべきである。その為にも、中央と末端農家をつなぐパイプは極めて重要である。ところが最近ではあらゆる機関が中央へ集中する傾向にあるので、これら連絡協議会は、意識の統一、技術の統一の場としてますます大切であり、更に部会も設置して専門的に深く検討する必要も出てくるのではなからうか。
- 等々の意見が提出された。

多頭飼養における多発疾病の防除と今後の養豚の方向

講師 岡山県酪農試験 研究員 森谷昇一

これは五月十九日、岡山県養豚振興協会総会においての記念講演を集録したものである

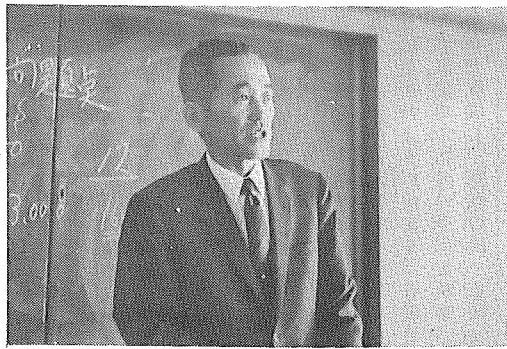
○ 食肉の生産と消費

最近経済の高度成長により、国民の食生活もご承知のとおり大きく改善され、食肉の消費は拡大される一方です。

昭和四十三年の食肉消費量を統計でみますと、	総量	一一一万吨
	牛肉	一七万吨(一四%)
	豚肉	五三万吨(四四%)
	鶏肉	三五万吨(二九%)

右のようになつており、豚肉の比重はますます高くなっており、

講演中の森谷氏



また、農林省が発表した畜産物の長期需給みとおしによりますと、昭和五十二年には昭和四十一年比で総需要量が二・三・二・七倍に伸び二五〇万吨前後と見込んでいます。豚肉生産見込みは、二・七倍の増加で一三六万吨、頭数にして約一、五〇〇万頭です。つまり、五十二年には、豚肉が食肉供給量の五〇パーセントから六〇パーセントを占めるということになります。

現在枝肉で四〇〇円以上、店頭で八〇円以上の値がついております。値が高いということは我々にとって喜ばしいことではあります。これ以上になると牛肉並みになってしまい、安い肉ではなく、豚肉はあくまで大衆肉でありま

○ 養豚の現状と問題点

現在我が国では、大略六〇〇万頭の豚が五〇万戸の農家で飼われており、一戸当り一二頭といたるところです。飼養戸数は年々減少を続けており、反対に一戸当り頭数はふえてきております。岡山県はとみますと、五〇、〇〇〇頭の豚が三、〇〇〇戸に飼われ、一戸当り一六・一七頭で全国平均よりも多頭になっております。

現在、子豚の出荷時体重も大きくなって四〇キロが普通になりましたが、それにしては子豚は高く、一四、〇〇〇円から一五、〇〇〇円しており、それです。現在では子豚に米をくわしてもとれるとまでいわれています。ところが、この子豚高にもかかわらず、今後もし取り農家はふえていく気配はありません。この好況な経済情勢が続く限り、絶対といつてもいいほどふえる見込みはありません。

子豚高が続くかぎり肥育の多頭化は困難であります。反対に多頭化経営(繁殖豚)がむずかしいから子豚高を招くことになっております。また多頭化経営を妨むものとして、疾病の多発(生産性の低下)があげられ、更に糞尿処理問題(公害)が今後大きなガンとなってまいります。

これからの養豚界をながめてみますと、豚はある意味では農地とはなれて進展するのではなく、かろうかと思われ、改良の面でも、流通面、経営面でも鶏と似かよっており、鶏の進んだ道の一步あとを歩いてゆくのではないでしようか。

りきりというわけにはいかないで、分娩欄を設け、自然分娩させてしかも圧死を防ぐ必要があります。ただし、寒冷時には授乳後は保温箱のほうに移動させてやる必要があります。この分娩欄には、分娩三日前より分娩後七日目までの一日間入れておきます。

現在のところ人工授精の普及率は全国で二〇パーセント以下で、岡山県では二五・二六パーセントだろと思われ、なぜかという、精液の保存がむずかしい、また、豚の発情が長く種付け適期がみわけにくい点にあります。しかし、こんごの技術の確立は絶対必要なものであります。

微夜で監視して、生まれてくる子豚一頭たりとも殺ろさないようにしているのが現状の姿です。

また、繁殖豚の場合は、ある程度の自給飼料は与えないと十分な能力を発揮しないし、日光浴、運動も必要なので、当然土地との結びつきが必要になります。ではいかにして多頭化するかと

多数の繁殖豚がバラバラに発情し分娩したのでは省力にならないので、黄体ホルモンと発情強化ホルモンの併用により発情の同期化を図ることです。

人工授精技術

これからの養豚界をながめてみますと、豚はある意味では農地とはなれて進展するのではなく、かろうかと思われ、改良の面でも、流通面、経営面でも鶏と似かよっており、鶏の進んだ道の一步あとを歩いてゆくのではないでしようか。

それでは、これらの問題をいかに打開していったらよいのでしようか。

多頭の繁殖豚がバラバラに発情し分娩したのでは省力にならないので、黄体ホルモンと発情強化ホルモンの併用により発情の同期化を図ることです。

現在、豚の飼料給与基準はありますが、飼養標準は決められていません。全般的にみて、エサの過給から繁殖母豚のふとり過ぎが多々みられます。過肥は発情がよわいし、排卵も少なく、更には難産につながります。

○ 多頭化における問題

問題

一、繁殖豚の多頭飼育技術の確定

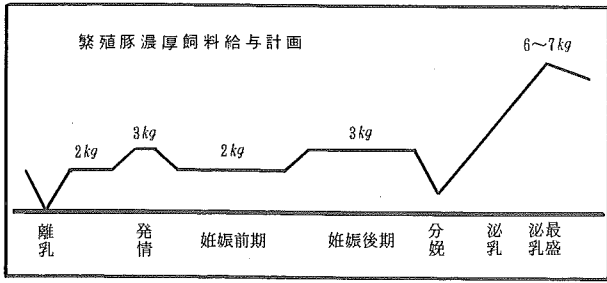
繁殖豚が多頭飼養できれば、そのあとに続く全ての面で大型化が可能なのであります。現状では多頭化すると、発情の発見も早くゆかず、種付けはおくれ、疾病の発生もおじやんになるといふのが普通です。分娩にしても省力化で手をぬけば、たとえ一二頭の子豚がうまれても一晩で圧死により殺ろしてしまう、やは

多頭省力化の場合、分娩に徹夜でか

すので、生産費の低減を図る必要があり、鶏卵並みの生産にならないと外国産のものたちうちできません。それには能力のよい豚に能力をいっぱい発揮させることが必要ですが、現在ではあらゆる病気が足を引っ張っております。そこで、健康豚の作出がまず一番に必要になり、更に改良を重ね、飼養管理の向上を図ることが必要であると思われま

現在、豚の飼料給与基準はありますが、飼養標準は決められていません。全般的にみて、エサの過給から繁殖母豚のふとり過ぎが多々みられます。過肥は発情がよわいし、排卵も少なく、更には難産につながります。

- (1) 母豚の雑種利用
- (2) 群飼、放飼
- (3) 施設の改善
- (4) 分娩欄



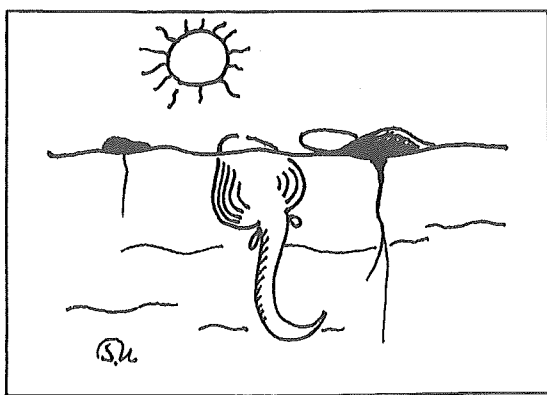
現在、豚の飼料給与基準はありますが、飼養標準は決められていません。全般的にみて、エサの過給から繁殖母豚のふとり過ぎが多々みられます。過肥は発情がよわいし、排卵も少なく、更には難産につながります。

アメリカでは維持飼料は一・五キロロ十分だといわれております。そこで給与計画を示せば図のようになります。

二、子豚の安定生産と流通対策

繁殖肥育一貫経営が好ましいが、大規模化がむずかしい場合には、すでに二・三の農協がやっておられるように、管内で養豚団地化を図り、団地内で一貫経営を図るようすべぎだと思えます。更に団地内で安定価格協定を定めているところもあるようです。

ただし、疾病の発生予防の面から考えると、多数の子豚生産農家から育成場へ



三、多頭飼養における多発疾病の防除

養豚で大切なことは、まず損耗を防止し、生産(発育)障害を締め出すことにあります。

多頭化して回転率をあげてもうけを大きくしようとするれば、豚を出荷した跡を空けて消毒し、乾燥させることもむずかしいし、また観察豚舎を設けることもなかなかできにくいことです。他からの導入豚をすぐ豚房に入れて肥育にかかりますから、一頭が病気をもち込むとまたたくまに全頭に広がることになり、栄養、環境がよければあまり問題もないでしょうが、何かの契機に爆発的に発生し、大打撃を受けるわけです。現在と場で調査しますと、(伝染性肺炎(SEP)、萎縮性鼻炎(AR)等、相当高い浸潤率を示しております。

最近、疾病は薬剤によって治療し、また進行をくい止めればよいといった考えから、エサよりクスリを先に与えるといった感があります。もっとも病気に汚染された豚舎で肥育する場合には、九〇キロ到達に二〇〇日以上、はげしいものでは二三〇日以上要しているようですから、そこで、エサならぬクスリを喰わすということになるでしょう。

全畜連の研修牧場の発表によると薬代は左のようになっております。

一頭当り薬代	二五二・五三元
子防除	三七・六%
駆虫薬	七・六%
抗生物質サルファ剤四五・〇	
強肝栄養剤	三・四
整腸剤	六・四
合計	一〇〇・〇
繁殖豚一頭当り	三二七五・四〇円
(消毒液を含む)	

この肥育豚一頭当り薬代は極めて少額なほうで適切な飼養管理がなされたものと思われ、一般ではこの二倍以上の薬代がかかっているでしょう。また、多発した疾病として肺炎、胃腸炎、心のう炎、それに圧死、肺充血、胃内出血があげられており、発育障害は大きなものがあるわけです。

健康豚の場合は、
九〇キロ到達 一六〇日
飼料要求率 三・四〜三・五
であるのが、病豚では、
九〇キロ到達 二〇〇日以上
飼料要求率 四・二以上

になり、各地で行われている産肉検定の試験も、普通の場合には全ての病気をシャットアウトすることは不可能に近いので、その成績もその豚本来の能力を示しているとはかりはいえないので、ある面からは無意味と言えるかも知れません。

ん。

そこで、近年SPF豚(特定病原不在豚)の問題がやかましくいわれるようになりまして。これでは次のものの排除をねらっております。

1. ウイルスによるもの
豚コレラ、伝染性胃腸炎、インフルエンザ
2. 細菌によるもの
豚丹毒、豚セキリ、コリネバクテリヤ症、大腸菌病、サルモネラ症、ブルセラ病、レプトスピラ症
3. その他によるもの
渗出性皮膚炎、封入体鼻炎、流行性肺炎、萎縮性鼻炎

岡山県養豚振興協会昭和四十四年度事業

岡山県養豚振興協会は去る五月十九日、岡山市で総会を開催し、昭和四十四年度の主たる活動を次のとおり取り決めた。

- 一、養豚に関する指導事業が沈滞気味であり、現在の養豚情勢からみて繁殖豚飼養技術の向上が極めて重要と思われるので、大型種豚の技術指導体系の確立を働きかけ、これをもとに地域での研究会を開催し、お互の技術の向上を図る。
- 二、県段階の養豚講演会を年二回開くとともに、肉豚の生産出荷予想、飼養状況、防疫情報、統計資料等の養豚関係資料を配布し、参考に供する。

- 三、県畜産共進会および県枝肉共進会の改良の場としての意義をおおいに高めるため、これへ多数参加するよう側面からの援助を行う。また、子豚の改良増殖を図り養豚経営を更に充実させるため、岡山、津山の二カ所の子豚コンタクトを開催する。
- 四、出荷面においては県営食肉市場を中心に関係機関と連絡を保ち、流通の改善を図る。
- 五、養豚関係組織の整備強化を図るために、ある程度行政的に働きかけを行う。

四、寄生虫、原虫によるもの

肺炎症、回虫症、トキソプラズマ病、かいせん、しらみ
もともとSPF豚は純学術的的目的のために作出されたものですが、これをいかに養豚界に活用するかの実用化試験を、岡山県でも酪農試験場の養豚部の施設を整備拡充して、この十月には農林省家畜衛生試験場よりSPF豚一頭(ランドレース種、♂三、♀八)を導入し、その後大ヨーク、ハンブンチャーを導入して研究を進め、三カ年計画でSPF豚農場化を図ってゆく予定であります。

また、昭和四十一年に本試験場に萎縮性鼻炎の発生をみて、養豚家の皆様にたいへんご迷惑をおかけしましたが、その後、この萎縮性鼻炎(AR)は主として哺育中の接触感染によることを前提として、汚染母豚と子豚との完全隔離を図り、三代にわたり慎重な観察と育成環境の改善により清浄豚の作出に努めた結果、ちやっくちと成果をあげ、計画どおり清浄化が進められております。

〇 おわりに

何分我が国の養豚は子豚の移動がはげしく、また肥育豚、資材にしても車によって大きくごぎます。当然多頭化すれば、水がよどんでくるように、上澄みはきれいでも、その底には汚染物がたまるというようになってきます。

病気が発生した場合は病原体をつきとめて治療しなければなりません。これは多頭化では大きな問題ですので、まず病原体を入れないことが大切です。従来は開放的飼養形態で近所となりの出入りなど比較的的自由でしたが、これからは閉鎖的飼養形態にかえる時代です。見せるための養豚ではないのですから。まず病原体の侵入を防止し、経営内の消毒の徹底を図り、予防措置を完全に行うことが経営安定につながってゆきます。

SQUIBB 増体と肉質の改善にすばらしく効く



天然ホルモン肥育剤(耳根皮下移植剤)

シバベックス

S(去勢牛用)一黄色ベレット
H(雌牛用)一白色ベレット

輸入元 日本スクイブ株式会社 発売元 昭和薬品化工株式会社
東京都港区赤坂3丁目2番6号(赤坂中央ビル) 東京都中央区宝町1-5(味の素第一新館)

化血研の
動物用 ワクチン・血清・診断液

財団法人 化学及血清療法研究所

熊本市古京町3番1号 53-6331

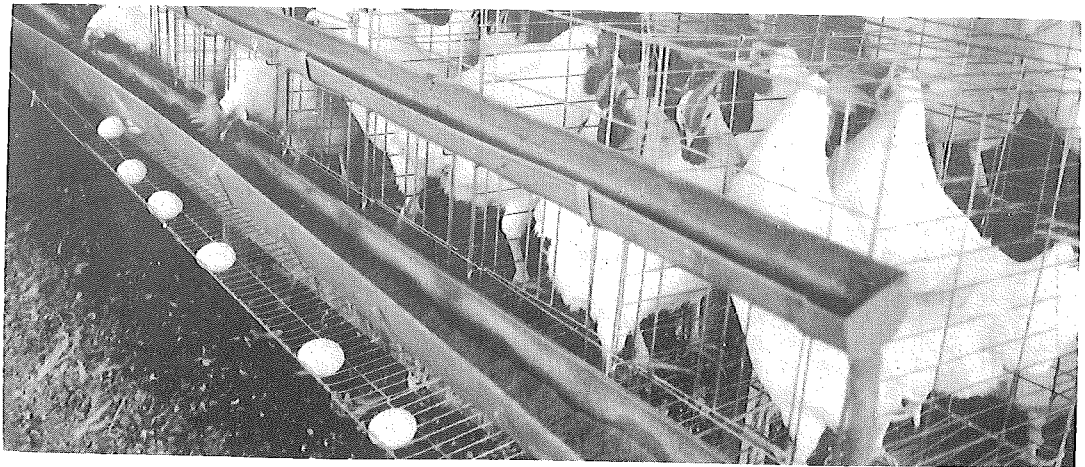
事務所=東京・大阪・長崎 支所=阿蘇・鹿児島

養鶏試験場だより

養鶏衛生と制限給餌

昭和44年度主要試験課題

専門研究員 多田昌男



昨年四月以降再開した養鶏に関する試験研究も二年目を迎え、衛生および飼養に重点をおいた試験研究が、ようやく充実した成果をおさめつつあります。本年度の試験研究課題は、養鶏界で早急に解明を必要とする課題を重点的に選択し、中でも衛生および制限給餌関係の課題にウェットをおき実施いたします。主要な試験研究課題を紹介すると、次のとおりであります。

〔衛生関係〕

一、ニューカッスル病ワクチネーション方式と効果判定に関する試験

全国的にまん延定着化し、しかも強毒化したニューカッスル病ウイルスに対処

するため、免疫度の高い効率的なワクチネーション方式を早急に設定する必要があるため、この方法について前年度に引続いて比較検討する。

本試験は岡山大学農学部家畜衛生学教室および山口県等との共同研究により、種々のワクチネーション方式を設定し、HIテストおよび野外毒攻撃（岡山大学で行なう）を行なって効果判定を実施し、その結果に基づき効果的なプログラムを設定指導する。

試験の規模

白レグ♀二五〇羽（五〇羽×五区）昭和四四・五・一六餌付
ブロイラー（WC×WR）♂♀三〇〇羽（六〇羽×五区）昭和四四・九・上旬餌付

二、育成率向上に関する試験

現在慣行されている給温育雛器による育雛方法は、保温に重点が置かれる関係から換気が不十分となりやすく、鶏病、とくに若令型白血病（マレック氏病を含む）等の発生と関係があると考えられる。また慣行の中大雛の屋内管理においても育成管理の面で問題があるので、これらに対する改善が必要である。

〔飼養関係〕

一、肉用鶏の制限給餌に関する試験（第三年次）

目的

肉用雌鶏を従来の育成方式で飼養すると飼料の摂取量が多く、育成費が高くなるだけでなく、発育がすすみ過ぎて過大となり、初産が早まり種卵として不適格な小卵の産卵期が長く、さらに生存率産卵率、受精ふ化率も低下する傾向がある。したがって、種鶏としての維持、経

済性に問題が多いので、これらの欠陥を解決するため鳥取、山口、兵庫等の各県との共同試験として、育成期ならびに成鶏期の制限給餌方式について究明する。

試験の規模

WR♀三〇〇羽（五〇羽×六区）昭和四四・四・一八餌付

二、卵用鶏の制限給餌に関する試験（第三年次）

目的

卵用鶏についても、育成期に適切な制限給餌を行なうことにより、飼料費を節減し、性成熟を適度におさえ、初産当時の卵重量を増加し、産み疲れを防ぐなどの効果が期待できる。この試験は鳥取、広島等の各県との協定試験として卵用鶏に対する合理的な制限給餌の方式を検索する。

試験の規模

WL♀二〇〇羽（五〇羽×四区）昭和四四・四・三餌付

三、卵用鶏の期別給餌に関する試験（第二年次）

目的

飼料効率を高め、生産性を向上するためには、育成期から産卵期を通じて鶏の生理に適合した経済的な期別の栄養給与が必要である。このため徳島・愛知等の

各県との協定試験として合理的な栄養給与法について究明する。

試験の規模

WL♀二〇〇羽（五〇羽×四区）昭和四四・四・三餌付

四、未利用蛋白質資源の活用に関する試験

目的

石油化学工業の副産物資源に酵母を培養した、いわゆる石油酵母蛋白は鶏飼料の蛋白質源として、その効果が期待できる。この研究では卵用鶏について石油酵母蛋白の給与効果を究明する。

試験の規模

WL♀二〇〇羽（五〇羽×四区）昭和四四・六・二〇餌付

五、種鶏に対するクロレラ給与が受精、ふ化に及ぼす効果について

目的

クロレラはアミノ酸構成にすぐれ、各種のビタミンを多量に含み、かつ動物の発育促進等に役立つCGFを含んでいるといわれている。このクロレラを種鶏に給与した場合、受精、ふ化に及ぼす効果について検討する。

試験の規模

WL♀二一〇羽（七〇羽×三区）昭和四三・五・二九餌付

養鶏協会事業決まる

岡山県養鶏協会では、五月二十四日、岡山市で昭和四十四年度総会を開催し、会長に惣津律士、副会長に山上茂吉、池田隆政の各氏を選任すると共に、次の事業を行うこととした。

従来より行っていた、鶏病の防疫対策、養鶏生産物の消費拡大宣伝、鶏卵の品質荷造りの改善（流通面においてブロイラー生産者の横の連絡協議会を開催する）、講習、講演会の開催等の

県境防疫会議を開催

去る五月二十一日、岡山、広島県境での家畜疾病の防疫について、笠岡家畜保健衛生所に岡山県畜産課、笠岡、高梁各家畜保健衛生所と広島県畜産課、福山家畜保健衛生所が集まり、また五月二十四日に岡山、兵庫県境の防疫について、和気家畜保健衛生所に岡山県畜産課、和気、美作各家畜保健衛生所と兵庫県畜産課、姫路家畜保健衛生所が集まり協議を行った。

相互に現在行っている防疫措置、事業計画等の説明および意見交換と今後防疫業務は、特に事前の情報収集が

畜産昔話

(一)

杜陵 胖

五、エーコク種という鶏

本県はエーコク種(原産地として知られ、古くは備中卵の名で広く名声を博していたものである)の成育については面白話がある。

名古屋コーチンに似たところがあるけれども、同種に比べて一般に丈が高く、体重は五斤八斤くらいであった。

このエーコク種の成育については面白話がある。

黒色のものは黒色コーチンから出たもののように、やや野卑でオービントンに似ているが、同種に比べると足が長く、卵は大きく体質が強健であった。

年代は不明であるが(安政以後である)といわれている(備中浅口郡長尾村の医師某(一説には都窪郡の人とも云われている)と一緒に英国へ行った者に英国の種卵購買を依頼した。ところが依頼を受けた者が帰国の際に購買を忘れ、帰途上海でこのことを思い出し、上海で「コーチン」種の種卵を買って求め、これを英国で買ったような顔をして持って帰ったのである。これをふ化し、地鶏と交配して一種を作ったのがエーコク種の始まりである。

色は二色あり、淡色のものはパフコーチンから出たもののように、足が長く、

これは戦後に普及したもので、大正の初めにすでに裏作にイタリアンが作られていたことは洵に興味深いものがある。し

かも乾草が商品化されていたのであるから驚く外はない。この裏作が何時頃まで続いたかは不明であるが、恐らく種畜場の買上げ中止と共に、作付けも中止となつたのではなからうか。それにしても面白い話である。

今日水田裏作のイタリアンライグラスは酪農家の間で常識とされているが、これは戦後に普及したもので、大正の初めにすでに裏作にイタリアンが作られていたことは洵に興味深いものがある。し

現存するものとしては最古のものである(奥山吉備男氏所有)。

その後は目立った活動は記録されていないが、各郡に畜産組合が設立され、大正七年一月には岡山県畜産組合連合会が設立され、県庁内に事務所を設け、専任職員を置き、県畜産奨励の別動団体として活動を始めたので、畜産会も自然消滅になったようである。

現在の畜産会は、昭和三十年十二月に設立されたもので、最初は畜産の経営診断事業から始まり、今日では畜産のコンサルタント事業の他、広く一般畜産の指導を行っているもので、各種の畜産関係団体を会員として組織されている。

これが水田の裏作であるから驚く。しかも収量は反当二、三〇〇kg位取っている。明治四十三年の米価は石当り一三円一七銭で反当収量は一石六斗三升とな

ない。云わば怪我の功名であったとも云える。

当時英国から種卵を輸入することを思いつき、上海卵にせよ外国種を入れて、備中卵として当時一銘柄を作り出した伝

統は、今日の備中地区の養鶏に引き継がれているのかも知れない。

エーコクの関係かどうかは知らないが昔から備中卵は色付きである。阪神へ出しても色付きという事で値がよかつたのである。そんな関係で相当近年まで色付き卵が出荷されたものである。白い卵より色付きのほうが見た眼もうまそうな感じがする。そこに備中卵の良さがあったのかも知れない。

岡山県にもこんな鶏が幅をきかせた時代があったという昔話である。

六、裏作のイタリアンライグラス

岡山種畜場が牧草の委託栽培試験を開始したのは明治四十二年である。牧草栽培の適否の試験と普及をねらうての委託栽培であつて、阿哲郡外八郡、九ヶ所に各一反歩づゝ牧草の委託試験地を設置し	委託栽培地	提供反別	牧草種類	種別	買上価格	大正三年度収量
	上房郡中井村	五反六畝	ライグリマン	乾草	一貫付	三百九貫
	苦田郡院庄村	五反三畝	〃	〃	十八銭以内	三百七十三貫
	勝田郡豊田村	三反	〃	〃	〃	三百六十八貫

一ヶ所につき年額拾円以内の補助金を出している。この試験は大正二年まで五ヶ年間続いております。試験の結果も良かったので、大正三年からは種畜場の飼料用乾草を作るために委託栽培を行っている。

ついでに

今日水田裏作のイタリアンライグラスは酪農家の間で常識とされているが、これは戦後に普及したもので、大正の初めにすでに裏作にイタリアンが作られていたことは洵に興味深いものがある。し

かも乾草が商品化されていたのであるから驚く外はない。この裏作が何時頃まで続いたかは不明であるが、恐らく種畜場の買上げ中止と共に、作付けも中止となつたのではなからうか。それにしても面白い話である。

七、岡山県畜産会

社団法人岡山県畜産会といえは現在我々の所属している団体である。この畜産会が組織されたのは昭和三十年十二月十九日である。

明治四十二年には、第二回県畜産共進会が岡山市で開催された際に岡山県畜産写真帖を発行している。恐らく畜産関係の写真帖としては最初のものであつて、

八、バター製造の話

岡山県種畜場の業務功報報告によると「明治四十年以降当場生産、餘乳ヲ以テ「バター」製造ヲ行ヒ、近時稍々良品ノ製出ヲ見ルニ至レリ。其ノ製造量ハ各年四百封度内外ニシテ、一封度、バター生産ニ五升七合乃至六升七合、全乳ヲ要セリ」(大正四年発行)と出ている。これを見るに、バターの製造は割合に早くから行われていたことが判る。しかしこれは種畜場での試作程度であつて、一般ではまだ製造する者はいなかつた。

その後大正六年になって神戸市の古谷岩雄氏が邑久郡長浜村にバター工場を設

立して、地元の牛乳でバター製造を開始したが、別な方面に発展し過ぎて家庭争議を起し、僅か数ヶ月で閉鎖されたといふことである。その後大正九年に長浜村の時実京蔵氏が同じく長浜村でバターの製造を開始しているが、餘乳処理の一方法としてのバター製造であつたらしく、大正十年に邑久郡豊村浜に岡山煉乳株式会社設立され、集乳を開始したので、自然に中止されたようである。

種畜場のバター製造はその後引き続き行われ、金鈴印のカルトンに入れて販売していたのを憶えている。

種畜場のバター製造はその後引き続き行われ、金鈴印のカルトンに入れて販売していたのを憶えている。

種畜場のバター製造はその後引き続き行われ、金鈴印のカルトンに入れて販売していたのを憶えている。

明日の日本酪農を創る

多収性、耐病性にバグン、他に類を見ない

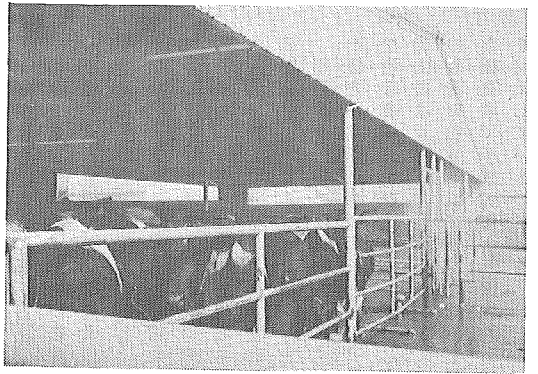


SNOW BRAND CERTIFIED SEED

雪印種苗株式会社

岡山営業所 岡山市巖井1482の1 TEL 520395

◎カタログ進呈、御相談、その他御来店お得します。



ダイヤモンド・ゼー農場の牛体洗滌装置

19 印象に残っている

農場

七、ダイヤモンド・ゼー農場

ダイヤモンド・ゼー農場はモデストの南東のウォーター・フードに位置し、第一第二農場にわかれ、牛群は一、〇〇〇を越える頭数を繋いでいる。しかも近代設備の整然たるものだった。したがって見学者も数多くあるといわれている。農場内はおおむね平坦で、住宅、事務所、牛舎等はキチンと並んで建てられて

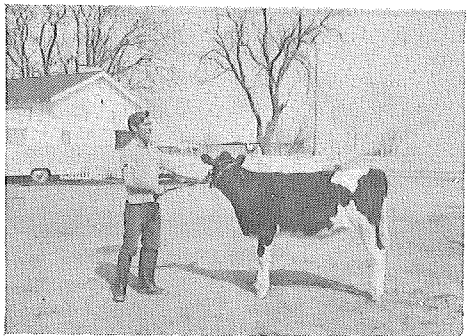
アメリカ・カナダ旅行記

(その九)

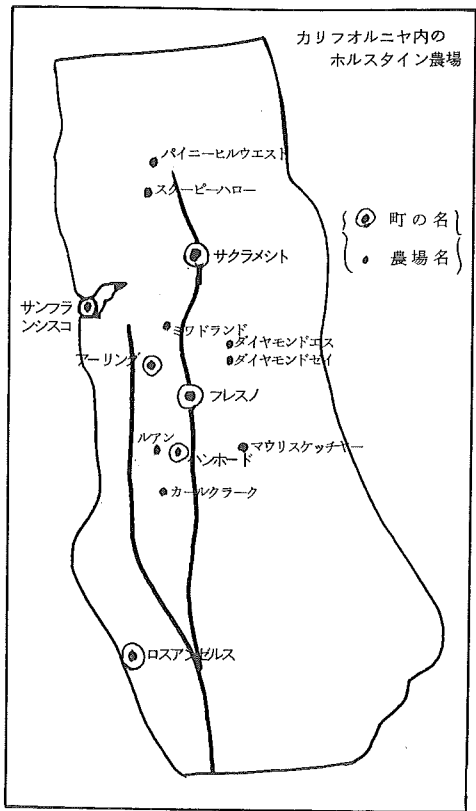
ナガイ アンド ハナオ

いる。住宅の周囲には白ペンキで塗られた低い柵がめぐらされ、極めて清楚感があったよっていた。特に搾乳室は清潔な施設が他の農場よりすぐれていた。よい牧場では、普通搾乳前に牛体洗滌が行われる。この農場では、周囲をかこった一段高い台の上に多数の牛を追い込

み、下から斜め上に向かって、四方八方からシャワーが強い力で噴射される。台の上の配管のところどころに円形の噴射口がつくられており、そこから噴射される。そして牛体が糞や尿で汚れているのを一度に洗い流してしまふ。牛は気持よげにキレイサッパリとシャワーが掛け終るま



ダイヤモンド・ゼーの25,000ドルの雌子牛



ら写真を取ろうとシャッターの雨を降らせた。水島に入った二五号は、この農場の最高の牛である。

隣接農場にダイヤモンド・エスがある。ハロルド・ゼー・シュミット氏の経営で、なかなか名の出ている農場である。

事務所の前に子牛の育成小屋が作られており、犢牛が犬小屋に似た箱形のものに一頭毎入れられている。楕円形にこの箱が並び、その前にレールが敷かれ、濃厚飼料を入れた鉄製の丸型容器がこのレールの上を回って自動給餌されてゆく。容器の中にはプロペラがあり、エサを攪拌する仕掛だとのことだった。

馬焼の湯呑だった。親日感をあらわしたものだろう。

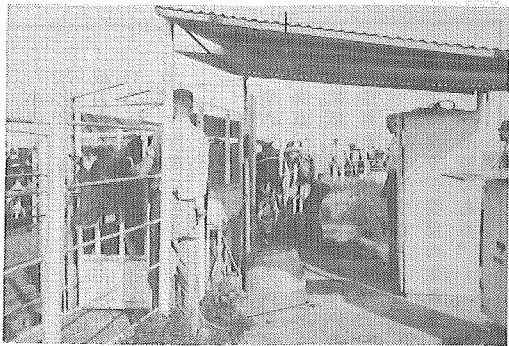
九、ロス郊外の農場

ロス郊外のクワイ農場(ケイという町にある)とスターク農場の購買は、空胎、ブルセラでアウトとなった牛の追加のためである。

ヘンリー・スタークの主人は背の高い人で、男の子がいないので娘に養子を迎え、すでに三人の孫ができています。養子はなかなかのスタイリストで、我々一行の説明役を引き受けてくれ、メキシカンハットに葉巻を横持ちにくわえ、時にはジョークを飛ばす男である。農場経営をまかされておられ、なかなか自信をもっているようだった。

農場も、搾乳牛と育成・乾乳牛とは別々の農場となっており、頭数も千数百の

群を所有しており、エキセレント五〇余、ベリー・グッド二〇〇余からしてもすぐれた農場といえる。

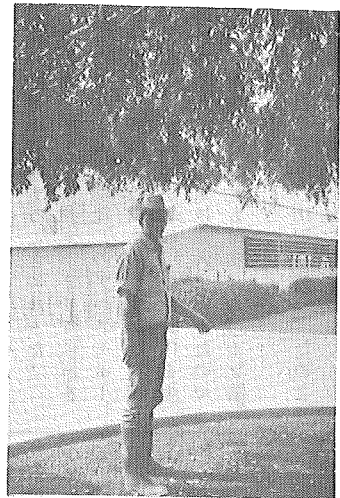


クワイ農場の保定枠

クワイ農場の育成農場はとつともなく離れたところにある。

ロスの北方自動車で三時間半のデラノの町の西よりの地点で、大平原の真ただ中にある。

広大な柵がめぐらされているだけのもので、牛舎といったものはない。写真のような、ただ結核、ブルセラなどの検査のため、また番号をつけるのに必要な



スターク農場の若主人

群を所有して、エキセレント五〇余、ベリー・グッド二〇〇余からしてもすぐれた農場といえる。

“酪農・養鶏機ならおまかせ下さい”

農業機械ならなんでも揃う店

岡山市柳町一丁目一の七

小六農機株式会社

TEL 岡山④0307代 岡山市外専用110

営業所 高梁・金川・児島

保定棒と屋根だけの建物があるだけであ
る。頑丈な身体でしかも肢蹄の強い牛を
つくるには、スバルタ育成が必要なのだ
とうなずける。

遅くなり日が暮れかけたので、購買が
すむと、クイイの連中はすっ飛んで我が
家に帰っていった。真赤な夕日がカリフ
オルニヤの大平原のかたに静かに沈ん
でゆく。夕闇のなかに残された者は我々
四人だけ、寂寥たる夕暮れの旅情、何か
胸にせまるものを感じる。真暗やみにな
ってから宿を求めて町に向った。

カリフォルニア
カナダからの客

カリフォルニアでの案内役だったミッ
ドランド牧場主ラッセル・グレハム氏が
突然香川県差し回りの車でやってきた。
時たまたま桃花苑で酪政連岡山支部連
合会の設立総会および酪農民代表者大会
の日で、手が抜けないので県畜産課の永
井課長補佐に案内役を願う。夜になって
やっと彼と一年ぶりの再会の場をもつ。
相変らずくたくたのなき、愉快な男であ
る。水炊きをつつき、タンコ節を大きな
ズウタイを動かしてよろこんで習ってい
た。左ききの彼は、何んとか箸をこなし
て食べていた。(三月二十二日のこと)
今度は野沢組の伊藤さんの案内で、カ
ナダから遠来の客を迎える。四月十六日

の朝、ホテルニエーオカヤマの宿舎から
酪農試験場に案内することになった。
お客はオントリオ州オークビルにある
ヘイスファーム(商社)のデニス・ホー
ル支配人である。彼はものしずかな英国
型紳士で、英国で生まれ、少年時代を生
国で過した。彼の父は軍人であったので
南米で暮らしたこともあり、スペイン語
にも堪能である。
津山に行く途中の山河を見て、このよ
うなところで生活する人達は幸福である
といひ、美しい風物に感嘆していた。自
分の育った英国もこのようなところで、
似かよっているといっていた。
限られた時間しかもたないため酪試だ
けの案内しかできなかったが、渡辺場長
のあらましの説明は聞いた。その時、た
また後継者問題にふれたが、カナダに
おいても同様の悩みがあるそうだ。農業
は第一に労働がきついこと、第二に働く
時間が一定していないこと、第三は報酬
が労働の割りとして安い点などがあげら
れるそうで、農業者の悩みを語ってくれ
た。場の種雄牛についてたねんに血統
を聞き、一頭毎に吸いつけられるように
見入っていた。

彼は、六月の気候のよい時に今一度訪
れてくれるようにといひ、島根県に向
って旅立った。彼にとっては初めての日
本訪問であったが、日本のホルスタイン
を見た感じはどうだったろうか、北海道
から持ち帰りたい牛がいたともいっていた。

北海道上川郡東神楽町八千代
畑中 隆方入農

横山 博一
真庭郡美甘村鉄山出身

四月十二日の昼すぎ、畑中さん方に着
きました。これから向う一年間、酪農研
修生として頑張る覚悟です。
毎朝五時に起床して、搾乳、育成牛の
管理、牛舎の清浄、飼料給与等々、元氣
に作業しておりますが、二三日の間は
この早起きはつらかった。四月といえど
もやはり北海道で、朝方は寒くしょう

がない。北海道に来て一番困ったのは、
言葉の意味がよくわからないことだ。も
っとも畑中さんも私の岡山弁がよくわか
らないと思うのだが。



さて、私が研修課題の中心にあげてい
ることは、飼料作物と乳牛の個体観察で
あります。これが一番技術面、経営面に
つながると思っております。そしてこれ
らの経験を一番積んでいるのは北海道だ
らうと思ひ、北海道に研修地を選び、岡
山県畜産会に優良酪農家の選定をお願い
したわけですね。また、北海道の牧草地が
美甘村のそれとよく似ている、たとえ
ば放牧は五月中旬から十一月中旬まで半年
間行われている。北方型牧草が美甘村の
気候に合っている。また岡山県中部の久
世町、落合町と比較してみても、美甘村
は夏期牧草が夏枯れで伸びないというこ
とはないし、真夏の日中でも中部に比べ
て涼しく、牛もそんなにえらがらない。
これらがだいたい北海道と似ていると思
われる点です。

飼料用カブの品種

◇ 紫丸カブ
極早生系で短期間に生育し、一〇
アール当り五と六トンの収量が得ら
れ、主として高冷地に適しているが、
温暖地の秋冷期の短期栽培に利用さ
れてもよい。また、低温にあっても
抽苔しないため、早春播種利用もで
き、飼料用カブの唯一の春まき品種
でもある。

◇ 小岩井カブ
小岩井農場の育成品種で、東北地
方北部に適し、重用されている。貯
蔵力に富んだものを得るためには一
一〇日ぐらいの生育日数を必要とす
る。

◇ 下総カブ
青首系飼料用カブの代表品種で、
北海道、東北地方北部を除き、全国
的に広く栽培利用されている。
生育日数は一二〇〜一三〇日を要
し、よく生育すると一個一・五キロ
以上になり、葉部の生長もよい巨大
な多収品種である。

品 種 名	根 色	取 量	早 晩 性	生 育 日 数	播 種 時 期	
					春	秋
紫 丸 カ ブ	紫	中	早	90	○	○
小 岩 井 カ ブ	緑	大	中	110	○	○
下 総 カ ブ	緑	大	中	130	○	○
セ プ ト ヲ ッ プ	緑	大	晩	150		

◇ セプトトップ
極晩生系で、生育期間の長い九州、
四国地方など西南暖地の栽培に適し、
多収が得られる。
葉は直立型で葉数多く、根部の肉
質は硬く、べと病、バイラス病等に
抵抗性を示し、また冬季の耐寒性も
良好である。
(牧草と園芸より)

研修地の東神楽町は、北海道上川郡支
庁管内の中央部にあって、旭川市から南
に約二五キロ離れたところだ。気候風
土がよく、土地も肥沃で畑作、稲作、酪
農が盛んで、北海道としてはバラエティ
に富む農業の町だそう。稲作は北
海道では一番よく穫れるところだそう
だ。東に大雪山、南には十勝岳と眺めの
非常によいところで、特に牧草地の広
いのが印象的でした。
東神楽町の酪農協同組合は、四十数名
の組合員で構成されており、乳牛頭数は
五〇〇頭、そのうちの約八〇パーセント
が八千代地区で飼養されています。
畑中さんは、昭和四十年年度の第一次構
造改善事業で、経営近代化施設の名義で
畜舎、サイロを建設しています。総事業
費は六三三万八、〇〇〇円ですが、国が
半額の三一八万九、〇〇〇円を補助金と
して出してくれたそうです。工期は昭和
四十年五月十九日から、八月三十日に
着工しています。畜舎の面積は四六一・
一平方メートル(約一四二坪)で、サイ
ロは一五〇トンの貯蔵量だそうです。
畑中さんの経営概略を述べてみます。
畜舎は三棟で、大中小と分かれていま
す。大は前述の大牛舎で、中は六三平方メ
ートル(約一九坪)で、サイロは五〇トン、
一五トンの二基をあてています。小は二
六・七平方メートル(約八坪)です。乳
牛は成牛が三〇頭(うち高等登録牛一頭

第一胃の機能強化促進に!!

トルラミン

必須ミネラル
ビタミン総合栄養剤

ミネスタ・ゴールド

東芝製薬株式会社 川崎市 中瀬 3-19-11
TEL 川崎 (28) 1319 (代表)

第一胃内ミクシラ
の発育、増殖の
促進剤
○ 食欲不振、消化不良、慢性胃腸障害
○ 急慢性胃腸障害、消化不良、慢性胃腸障害
○ 急慢性胃腸障害、消化不良、慢性胃腸障害
○ 急慢性胃腸障害、消化不良、慢性胃腸障害

500g (100g × 5包)

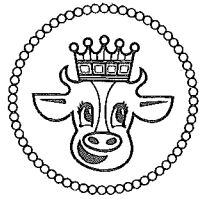
乳は国産 エサは全酪

団結は力！
系統利用は団結の象徴

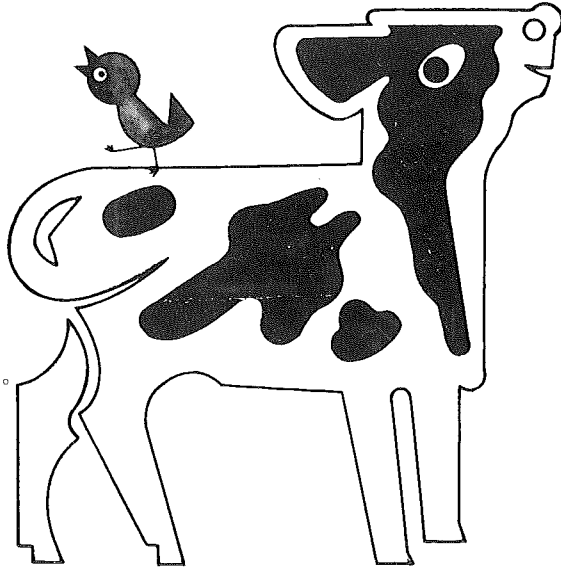
最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスターター。
幼牛用、搾乳用配合飼料。
その他酪農用飼料資材全般。
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協！
全国酪農業協同組合連合会



と育成牛一五頭です。耕地規模は、放牧地三〇ヘクタール、牧草地一五ヘクタール、水田一・五ヘクタール、普通畑二・三ヘクタール、原始林一・六ヘクタールで、酪農機械は一式あります。北海道でも個人経営としては大きい経営だそうです。同じ年に、畑中さんの近所の人も協同経営で酪農をやっています。

この付近は水田酪農が主で、乳の出荷先は、主に旭川市、札幌市周辺です。牛乳の脂肪率は三・四パーセント前後が多く、乳価は一キロ四八円ということですが、今、成牛が下痢をしているので、なぜか下痢を患っているのだからかと思いが少し高いようなので、少量与えるようにしたらいよいよ下痢はとまりました。放牧は五月十七日頃から始める予定です。(四月報告より)

北海道千才市長都
戸田 肇方入農
千歳の先進酪農
坂根 勉
津山市太田出身

こちらに来てまず最初に感じたのは経営規模が大きく(戸田さんの経営規模は畑地一八ヘクタール、原野六・七ヘクタール、成牛二六頭、育成牛二一頭、種雄牛一頭)、機械力が十分すぎるほど導入されていることです。やはり北海道農業だと思っただけで、しかし反面、たいへんきびしい面もあると感じられた。

農家自体では労働力が不足、実習生に頼っているところが多い。四月は研修生も少ないのでよくわからないが、実習生および研修生の受入れ態勢ができていないと思う。これはどこの酪農家も同じであろう。個人部屋などはあるが、作業の面ではただ働かせればよいという感じが出て、勉強をするという態度がなかなかとりにくい。もっとも、その作業のなかから自分に必要なものを身体で学びとらなければならぬのだから。

私より先に実習生が二人(秋田県と北海道)入っているの、この人達とおおいに勉強や見学などを月二日の休日を利用してしたいと考えているところだ。

地区でのクラブ活動もあるようだが、作業時間が朝の五時から終了が夜の八時から八時半頃になるのでなかなか参加がむずかしい。

畜産後継者を八名派遣

昭和四十四年度畜産後継者先進地農家留学研修制度による研修希望者の派遣先について相手方県の畜産会と交渉の結果左記のように決定し、中央畜産会へも申請を行っている。

この研修制度は毎年行っているが、二、三カ月の短期のものと異なり、長期間同一農家で勉強し、ひとつの作業体系や結果を通して学べるので極めて効果の高いものである。また、受入農家にとっても、家族同様に扱い、若いものと同じくりと勉強のやり直しといったこともできるのでたいへんよろこばれている。

派遣

坂根 勉 酪農 津山市太田	井上 修 酪農 津山市下田邑
期間 四十四年四月～九月	期間 四十四年四月～四十五年三月
研修先 北海道千才市長都 戸田肇	研修先 兵庫県赤穂市千鳥ヶ浜
横山博一 酪農 真庭郡美甘村鉄山	小野栄太郎
期間 四十四年四月～四十五年三月	
研修先 北海道上川郡東神楽町八千	
代 畑中 隆	
川崎憲治 酪農 吉備郡足守町真星	井上徳則 酪農 倉敷市昭和町
期間 四十四年五月～十月	期間 四十四年四月～九月
研修先 高知県香美郡土佐山田町改	研修先 岡山市浜本町井上牧場
田 乾 竹雄	田中真琴 酪農 倉敷市北浜町
	期間 四十四年四月～九月
	研修先 岡山市浜本町井上牧場
	山本 一 酪農 川上郡成羽町小泉
	期間 四十四年八月～四十五年一月
	研修先 広島県佐伯郡湯来町川角
	長浜 知 養豚 上房郡賀陽町吉川
	期間 四十四年七月～十二月
	研修先 静岡県榛原郡御前崎町新神
	子 曾根東海夫
	矢野知義 酪農 高知市朝倉甲
	期間 四十四年五月～十月
	受入先 上房郡賀陽町吉川重森計己
	細田教子 酪農 島根県能義郡伯太町
	期間 四十四年四月～九月
	受入先 苦田郡鏡野町 浦山秀夫
	河津礼子 酪農 島根県安来市清井町
	期間 四十四年四月～四十五年三月
	受入先 苦田郡鏡野町 浦山秀夫

本誌の予約申込要領

誌代 一部 五十円(送料共)
年間予約六百元(送料共)

但し一部購入の場合は贈頁の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も一部五十円のサービス価格とす。

集団申込の特典
十部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十五円にします。百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を四十円に引き上げますが、但しこの場合は一括購読ですから個人別発送は致しません。

申込方法
同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先
岡山市桑田町一丁目二番地
社団法人 岡山県畜産会指導課
(電話) 岡山 8575番
(口座番号) 岡山八五七五番

編集室から

うっとうしい梅雨を前にして、酪農家は天気予想を気にしながらイタリアンの刈り取り、貯蔵に、また、田植え準備にとてんてこまいの毎日であろう。もっともことしの春は、連日異常乾燥注意報がでるといったぐあいだったから比較的たくさん乾草ができたのではなからうか。

さて、ひとつの飼料作物でも最近はその品種がある。青刈り、貯蔵等の使い分けにより、土壌条件により、あるいは利用する機械により、それぞれに適した品種がある。ところが、実際農家でそれを区別されて作付けされているかというところ、そうとばかりはいえないようだ。そこで、ちょっと夏期の時期を失したが、飼料作物の岡山県の奨励品種選定の動きがあるので、県畜産課飼料係に執筆をお願いした。参考にして下さい。

岡山畜産便り(六月号)

第二〇巻 第六号
昭和四十四年六月一日発行(通巻第二百一十一号)

発行所 岡山市桑田町一丁目二番地
編集人 岡山市畜産会
印刷所 岡山市内山下七五番

定価 電話代表部 四九五一番
一部五十円(送料共)